

《令和5年度 上下水道部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者
部長 横山 晃

主 令和5年度当初予算概要「主な事業の概要」に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和5年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和5年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p><水道事業> ・昭和39年に一部給水開始した上水道施設(取水・導水・送水・配水等)の老朽化が進み、大量更新時期を迎えています。</p> <p>1 ・近年の地震・風水害等による上水道施設被害の激甚化を踏まえ、災害に強い浄水場等のライフラインの確保が求められています。</p> <p>・草津市水道ビジョンにおいて「災害に負けない水の道を築きます。」を目標に掲げ、事故・災害対策を施策として位置づけています。</p>	<p>① 第2次草津市水道ビジョンに基づき基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所に至る管路の更新による耐震化を優先的に進めます。</p> <p>② ロクハ浄水場および関連施設の浸水対策、北山田浄水場の耐震補強を進めます。 また、老朽化した機械・電気設備について、計画的に更新を行います。</p>	<p>【取組】 第2次草津市水道ビジョンに基づき、更新工事を行います。 (令和5年度事業費) 510,818千円</p> <p>①</p> <p>【成果目標】 配水管の更新 令和5年度事業費分 更新延長 3.0km</p> <p>【取組】 (1)北山田浄水場配水池耐震補強工事を行います。 (令和5年度事業費) 488,300千円 (2)ロクハ浄水場旧館等浸水対策工事を行います。 (令和5年度事業費) 32,890千円 (3)老朽化した設備の更新等を行います。 (令和5年度事業費) 73,066千円</p> <p>②</p> <p>【成果目標】 (1)耐震化 ・北山田浄水場配水池耐震補強工事 (2)浸水対策 ・ロクハ浄水場旧館等浸水対策工事 (3)機器の更新等 ・北山田浄水場緩速ろ過池電動弁 6台 ・北山田浄水場脱水機整備 1式 ・2段取水ポンプ場3号ポンプ整備 1台</p>	<p>①</p> <p>【取組実績】 第2次草津市水道ビジョンに基づき、更新工事を行いました。 (令和5年度事業費) 505,489千円</p> <p>【成果目標実績】 配水管の更新 令和5年度事業費分 更新延長 2.7km</p> <p>主</p> <p>【取組実績】 (1)北山田浄水場配水池耐震補強工事を実施しました。 (2)ロクハ浄水場旧館等浸水対策工事を実施しました。 (3)老朽化した設備の更新等を実施しました。</p> <p>②</p> <p>【成果目標実績】 (1)北山田浄水場配水池耐震補強工事(3か年工事の2年目)を施工中です。※ (2)ロクハ浄水場旧館等の浸水対策を完了しました。 (3)下記の機器等の更新工事を実施しました。 ・北山田浄水場緩速ろ過池電動弁 4台 ・北山田浄水場脱水機整備 1式 ・2段取水ポンプ場3号ポンプ整備 1台 (※令和5年度事業について一部明許繰越 166,244千円)</p>
<p><水道事業(経営)> ・昭和39年の一部供用開始から55年以上が経過し、老朽化した水道管の更新と併せて、震災等に備えたライフラインとしての機能確保が求められています。</p> <p>2 ・水需要の減少や物価高騰など水道事業を取り巻く環境の変化に注視し、引き続き事業の推進と安定した事業経営を続けていくことが必要です。</p>	<p><水道事業(経営)> 老朽化した水道管の更新を順次実施し、災害に備えたライフラインとしての機能確保を考慮した整備・更新・改修を進めながら、安定的な水道水の供給と健全な経営を継続して行えるよう、第2次草津市水道ビジョンに基づき、水道料金の10%還元を令和9年度末まで実施します。 また、経営状況の確認を行い、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指し、経営基盤の強化に努めます。</p> <p>③</p>	<p>【取組】 事業や経営状況の把握を行い、第2次草津市水道ビジョンに基づく進捗管理を行います。</p> <p>③</p> <p>【成果目標】 経営計画における目標達成状況や経営状況の把握と分析を行い、上下水道事業運営委員会への報告および公表を行います。</p>	<p>【取組実績】 第2次草津市水道ビジョンに掲げる各数値や指標等の確認、実績との比較検証を行いながら、健全な事業運営に努めました。</p> <p>③</p> <p>【成果目標実績】 第2次草津市水道ビジョン(令和4年度～令和5年度)の初年度である令和4年度決算について、計画に掲げる目標達成状況や経営状況の確認分析等を行い、上下水道事業運営委員会へ報告を行うとともに、市HPなどを通じ、決算状況の公表を行いました。</p>
<p><下水道事業> ・昭和49年の事業着手から45年以上が経過し、今後は施設の老朽化が進み、維持管理・更新費用の増大が見込まれます。 今後、効率的な施設管理を行うためには、優先順位を付けて計画的に事業を進めるとともに、事業を平準化する必要があります。</p> <p>3 ・大震災の発生に備え、災害に強いライフラインの確保が求められており、下水道施設の耐震化について市民意識が高まっています。</p>	<p>④ 草津市下水道事業第9期経営計画に基づき、計画的に施設を点検・調査し、更新を進めます。 また、災害対策拠点、避難所等からの排水を受ける重要な幹線等の耐震化を計画的に進めます。</p>	<p>【取組】 (1)施設の点検・調査、更新を行います。(令和5年度事業費) 69,913千円 (2)耐震対策の工事等を行います。(令和5年度事業費) 21,454千円</p> <p>④</p> <p>【成果目標】 (1)カメラ調査、施設の更新 ・カメラ調査延長 8.0km ・マンホールポンプ更新 4基 ・下水道管管更生工 16m (2)耐震対策工事 ・マンホール継手対策 30箇所</p>	<p>【取組】 (1)施設の点検・調査、更新を行いました。(令和5年度事業費) 56,906千円 (2)耐震対策の工事等を行いました。(令和5年度事業費) 42,919千円</p> <p>④</p> <p>【成果目標】 (1)カメラ調査、施設の更新 ・カメラ調査延長 8.6km ・マンホールポンプ更新 10基 (2)耐震対策工事 ・マンホール継手対策 42箇所 ・下水道管管更生工 5m</p>

